

久宝寺地区



発行者
久宝寺地区福祉委員会
委員長 津川 勝

八尾市北久宝寺2丁目1番1号
八尾市 久宝寺出張所 内
TEL 922-2233

許麻の里 沢辺に生ふる

かきつばた

君か手毎に

水やかかさん

(河内名所図会より)

住民懇談会・人権研修会

「発達障がい」を学びましょう」開催される

平成二十五年六月七日

久宝寺コミュニティセンターにて

講師 平成二十四年度 八尾市人権教育・啓発

プラン推進市民フォーラム委員による

参加人数 三十三名

今、学校でも社会でも、「発達障がい」で困っている子どもや大人が増えているとの報告があります。このような困っている方や、生きづらさを感じている方のことを、今回の研修で少しでも学んで、誤解や偏見を無くして助け合う「優しい社会や地域」をつくりましょう。

(久宝寺地区福祉委員会 委員長 津川 勝)

◇「発達障がい」の特徴

次のような障がいや症状が言われていますが、早めに気づき適切な療育につなぐことで、地域・学校・社会に適應する能力を身につけて、さまざまな固有の能力を伸ばしていくことができます。

●注意欠陥多動性障がい

集中できない、じっとしてられない、考えるよりも先に動くなどの症状がある。

●広汎性発達障がい

・自閉症

言葉の発達の遅れ、コミュニケーションの障がい、対人関係・社会性の障がい、パターン化した行動やこだわり、知的な遅れをとまなうこともある。

・アスペルガー症候群

言葉の発達の遅れはない、コミュニケーションの障がい、対人関係・社会性の障がい、パターン化した行動、興味・関心のかたより、言語発達に比べて不器用

●学習障がい

読む・書く・計算するなどの能力が、全体的な知的発達に比べて極端に苦手
以上のような障がい(個性・特徴とみることも大切)によって、幼児生活・学校生活・

社会生活上の学習や日常生活に支障があったり、生きづらさを感じている方のいることを知ってください。

◇「発達障がい」の原因と言われていること

生まれつきの脳機能の障がいであり、薬や手術では治せないとされていますが、育てられ方や親の接し方が原因で生じるものではありません。

◇「発達障がい」を個性・特徴と見ることの大切さ

前述のような「障がい」を悲観したり、あきらめてしまうことはありません。すこし違う個性・特徴として社会も認めて、それを活かすことは、個人としても社会としても好ましいことです。また、学びにおいての障がいや、生きづらさの原因である障がいを、改善したり対処する方法を学んだり、支援を受けることで、地域や社会で不自由なく共に暮らすことも可能です。

◇「発達障がい」のある方たちへの配慮

・できたことをほめる、できないことを叱らない。
・視覚的な情報を提示して、わかりやすく説明する。
・説明や指示は短い文で、順を追って具体的に。

・安心できる環境を整える。

・善悪やルールをはっきりと教える。
・発達障がいの症状のある子ども(人)を温かく見守る。

・「発達障がい」を理由にした人権侵害(いじめ・からかい・暴力など)は絶対にしない

◇「発達障がい」の相談窓口
気になることがあるときは近くの相談 窓口にご相談ください。

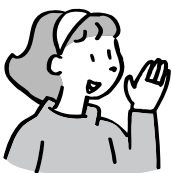
◇「発達障がい」の相談窓口

- ・八尾市教育サポートセンター
- ・八尾市障がい福祉課
- ・社会福祉法人ポポロの会「里の風」など

今回の研修の参加者の感想

終了後のアンケートで、参加三十三名中二十七名に答えていただきました。回答者の内二十二名が研修について「良かった」と答えられました。その他は「普通」三名、「よくわからなかった」二名でした。研修を受けての感想やご意見には次のようなものがありました。

- ・理解していると思っていたが、改めて勉強になった。意義のある話をありがたう。
 - ・発達障がいについて、わかりやすい説明であった。
 - ・発達障がいを学ぶことは必要と思うが、子どもたちを色分けしてしまうことにならないか、それがよいことなのか？
 - ・よく理解しないで、差別につながることはないように気をつけたい。
 - ・同じ人間として接することが大切だと思う。現象面にだけとらわれず、深く相手の心に寄り添っていきける自分でありたいと思う。
 - ・「理解してあげて」という上から視線が気になった。
 - ・だれにも発達障がいのようなことが多少なりともあることを理解していろいろな人たちと付き合っていきたい。
 - ・よく理解できたので「人権尊重」につなげたい。
- 今回の研修で多くの方が「障がい」を持たれている方の気持ちや支援の仕方、人権の問題にまで考えていただいたことがわかり感激しました。皆さんの力で「住みよい町づくり」をしていきましょう。



人権研修会受講

「何でも言わん会」で 仲間を増やそう

総務部会

皆さん、ご存知ですか？

「何でも言わん会」は八尾ではメジャー級なことを。

平成十九年、六年前にスタートした「何でも」は地域プロジェクトごとに二十四年度までで三十八回を数えています。田中八尾市長からも地域の活動としての評価を常にいただいています。久宝寺としても「何でも」は皆さんの声を直接いただく貴重な場であり、皆さんが地域自治や福祉などに参加いただく機会でもあります。

この場でも出された意見・要望のかなりは改善されて成果をあげてきました。代表的なものは、犬猫の糞問題（標識増やすなど）、安全対策（標識やカーブミラーの追加など）、空き地のごみ処理、空き屋対策、防犯活動の強化、医療講座や健康増進活動、幼稚園・小学校・中学校との連携、避難場所確認、災害対策と訓練などです。

今年度は、いままでの実績に重ねて、いままでにほとんど参加いただけなかった先生・消防団などや企業・福祉施設に加え、町会加入いただいている大型マンション住民の方と「何でも」を開催したいと考えています。

まず、中学校と小学校の先生方と行いました。地域福祉委員会メンバーと、先生方とのひざをまじえた話し合い「何でも言わん会」は始めてのことです。最初は多少の緊張感で始まりまし。しかし、話し合いが進むにつれて、互いの思いが出され、全員が発言するとともに互いが共感し理解されてきました。
共有できたことは「子どもたちのために何をするか、何ができるか」でした。



小学校でのあいさつ運動



◇久宝寺中学校の先生方との「何でも言わん会」

六月二十日 久宝寺中学校にて
参加者 中下校長先生、久保教頭先生、服部先生、池西先生、佐伯先生、今仲先生
地域 津川委員長、木原副委員長、中道（PTA）、笠原（育成、大下（青少年）、西川（ジュニア育成）中山（出張所）、伊賀、浜中（総務）
先生方から 地域の「見守り」に感謝
子どもには「言い続けること」「関わり続けること」

地域から 子どもは「あきらめたら駄目」「地域で子どもを見守っていることが大切」
学校（先生方）と地域がもっと知り合おう。
学校と地域の「連携」を考えていこう。

◇久宝寺小学校の先生方との「何でも言わん会」

六月二十五日 コミュニティセンターにて
参加者 有田校長先生、小林教頭先生、釘田先生、今浦先生、前山先生
地域 津川委員長、木原副委員長、小松相談役、向峯会長、奥村、杉本（PTA）、伊賀、庖刀（総務）
先生方から 「るんるん教室」など、地域の支援に感謝
子どもたちは、地域に「見守られ」「教えられて」幸せ。「挨拶できる子」になってほしい。
地域の方からの声かけ、「おはよう」「いってらっしゃい」「お帰り」がうれしい。
地域から 「るんるん教室は子どもたちに「久宝寺と大人」を好きになってほしいことから始まった。
子どもは「のびのびと育ってほしい」
学校（先生方）と地域がもっと知り合おう。
防犯・防災なども含めた連携を強くしていこう。

◇全体感想

初めての試みでしたが、お互いに、ある種の満足感と安心感を感じたように思います。
これからも皆さんの協力と支援をよろしくお願いいたします。
「子どもたちのために!!」



わがまち防災マップの検討会



防災訓練

「わがまち防災マップ」を作成配布

「いざという時」
日頃の備えがわたしとあなたを救う!!

久宝寺地区自主防災組織地区連合

副隊長 庖刀 崇浩

お手元に届いています防災マップにもう目を通されたでしょうか。いざという時の大切な情報がたくさん掲載されています。

この機会に、あなた自身と家族および隣近所・町会の方々と一緒に、マップを手に、危険な個所や連絡先、避難場所等を確認され、そして独り暮らしの高齢者をはじめ、救援、救助を必要とされる方のことを話し合っておいてください。

さらに家庭では、「防災マップ」を目のつきやすい場所に貼っておかれることで、ご家庭の一人ひとりの防災に対する意識が高まり、いざという時には、災害を最小限にいとめられ、減災につながります。

「備えあれば憂いなし」と言われますように、日頃の防災訓練や支え助け合う互助精神、機敏な行動が、お互いの大切な命を救い、財産を守ることに繋がると確信いたしております。安全で安心のまちづくりには、皆さまの一層のご協力をお願いいたします。

ブロックごとの防災訓練で実践的体験!

久宝寺地区自主防災組織

連合隊長 小松 照明

久宝寺地区の防災訓練は、これまで一年に一回、久宝寺小学校で実施してきましたが、本年は、ブロックごとの訓練を各地域で実施することとしました。

自治振興委員会では、久宝寺地区をA～Gまでの七つのブロックに分けています。

すでに、Aブロック（旭・高砂・真砂・栄・常盤）は六月九日に桜橋公園で、Cブロック（府住・新町）とEブロック（北町一・中町・西町）は合同で六月十六日に久宝寺小学校でそれぞれ実施しました。

ブロックごとに訓練を行いますと、少人数ですので、例えば、がれきの中からの救出訓練では、参加者全員がボールやジャッキを手にしての密度の高い訓練ができるという利点があります。

秋には、他のブロック（B・D・F・G）の訓練を予定していますので、よろしくお願ひします。

「ほっとステーション」新装開店

久宝寺まちなみセンターにて

二年間続けてきた「ほっとステーション」が新しいこころみを加えて、五月からオープンしています。

- ◇開店日が、日曜日になりました。
- ◇開店時間が早くなり、九時三十分からです。
- ◇場所が広くなり、ゆつくりくつろげます。
- ◇お手伝いに、イケメンが参加します。
- ◇何か、お楽しみアトラクションが見られるかも。
- ◇開催日は、毎月第三日曜日です。
- 八月十八日・九月二十二日(第四日曜)・十月二十日・十一月十七日・十二月二十二日・一月十九日・二月十六日・三月十六日。



贅沢なひとときを

まちづくり推進協議会 太田 隆

コーヒーの香りが広がる寺内町ふれあい館。ゆつたりとした空間で、くつろぎながらお友達と語り合える場所。

それが「久宝寺ほっとステーション」です。今年五月のりニューアルオープンを機に、私もスタッフとしてお手伝いさせていただいています。

来られた方々が、いれたてのコーヒーを飲みながら談笑されている姿を拝見すると、「真の贅沢というものは、ただ一つしかない。それは人間関係の贅沢だ」(サン||テグジュペリ)との言葉を思い出します。

誘い合わせてはもろろん、お友達づくりにませひご利用ください。

「久宝寺ほっとステーション」で過ごす時間が、皆さまにとって贅沢なひとときとなりますように…。



ほっとステーション



久宝寺はとぼっぽ

「久宝寺 はとぼっぽ」について

幼児とおかあさんの遊びと憩いの場所です
お誘いあわせて遊びに来られませんか！

久宝寺まちなみセンターにて

久宝寺地区民生委員児童委員協議会

委員長 木原 敏雄

- ・遊具やおもちゃがたくさんあります。
- ・広いので、のびのび遊べます。
- ・素敵なハウスがあります。
- ・民生委員児童委員が遊び相手や話し相手になります。
- ・各種ご相談にも応じることが出来ます。
- ・時期により「催し」があります。
- ・事前申し込みは不要です。



今後の開催予定(毎月第三土曜日 午前十時から昼迄)

九月二十一日、十月十九日、十一月十六日、十二月二十一日(クリスマス)

*八月は休みです

民生委員児童委員の役割の紹介

久宝寺地区には二十四名(内一名は児童委員専任)の委員が皆さんの地区ごとにいます。

生活上の様々な相談にのります。(子育ての悩み、介護の不安、生活のくるしさなど)

一緒に問題の解決方法を考え、サポートします。

市役所・社会福祉協議会、その他の関係機関につなぎます。

(担当の民生委員が分からない場合は、八尾市社会福祉協議会に問い合わせください)

地域を見守ります。

民生委員は民生委員法で設置が定められ、厚生労働大臣から委嘱された特別職の非常勤地方公務員です。

民生委員は児童委員も兼ねていて、主任児童委員と共に活動しています。

民生委員法によって守秘義務が課せられています。安心してご相談ください。

「はなみずきの会」

ゲームや軽い運動で「明るく楽しく元気に暮らしましょう！」

毎月一回 久宝寺まちなみセンターにて

ボランティア部会 角田 益子

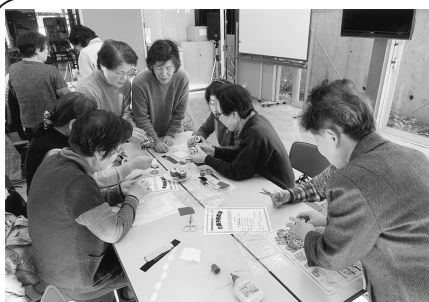
はなみずきの会は、保健センターの要請により、平成十六年四月に機能開発訓練教室B型リハビリ(医療におけるリハビリではなく)ひきこもりや寝たきり予防ということで、小地域ネットワークの一環として始まりました。

ゲームや軽い運動で体を動かして大きな声で笑ったり、クラフト等で出来上がった作品を見て楽しんでいたりしながら、それぞれの機能が衰えないように「明るく楽しく元気に暮らしましょう」という会です。

始めた頃は、会員よりスタッフの方が多く、自由に参加が出来たのですが少しずつ人数が増えて、今年度より申し込み制になり人数制限をすることになりました。少しでも多くの方に参加して頂けたら良いのですが、会場にも限りがあり、難しいようです。参加されている方は「毎回楽しくて月に一回を心待ちにしています」と言われていました。

今は機能開発訓練というより、ふれあいの場として皆さんに楽しんで頂いています。これもスタッフの皆さんが熱心に頑張っているお陰だと思っています。

(開催の詳細は、久宝寺出張所に問い合わせください)



はなみずきの会



放課後子ども教室

「久宝寺地区ひまわりの会」

ひまわりの会 会長 柏原 百合子

ひとり暮らしの高齢者の方たちの「いこいの場」です。楽しいから若がりえます！

毎月一回 コミュニティセンターにて 第三火曜日の午前十時三十分より（開催の詳細は久宝寺出張所へ問合せください）

久宝寺ひまわりの会は、久宝寺地区にお住まいの六十五歳以上のひとり暮らしの方を対象として毎年五十名前後の方が参加しています。

月一回の集まりですが、ボランティアの人達が心をこめて料理してくださる昼食がメインで、月ごとに健康歌体操や踊り、手品、ビンゴゲーム、時には交通マナーの講習会などがあり、地域の皆さんとの交流を図っています。

小学校の児童からは、夏、秋に葉書、お正月には年賀状を貰ったり、十二月には幼稚園の園児がコミセンへ来て、肩たたきや歌を唄ってくれます。心優しい子どもたちに感謝しながら、その時は皆さんの顔が何歳か若返ったような、そんな明るいひまわりの会です。

一日でも元気で皆さんと仲良くできることを願い、またお世話して下さる福祉委員会やボランティアの皆様「ありがとうございます」と感謝します。

特別養護老人ホーム

「久宝寺 愛の郷」(仮称)

新築計画のその後

福祉委員会委員長 津川 勝

本件については、今年三月四日に、コミセンにて説明会が行われて、百四十名の方が参加し、関心の高さを示しました。

最近になり、その後の進行状況がわかってきましたので報告いたします。工事が説明会の時から遅れています。

着工 今年九月予定 完工 平成二十六年九月予定

- ・名称 特別養護老人ホーム「久宝寺 愛の郷」(仮称)
- ・経営 社会福祉法人「大阪愛心会」(仮称)
- ・施設概要

鉄筋コンクリート造り・三階建て／駐車場あり
長期入居用(五十名)全室個室／ショートステイ用(十名)全室個室／デイサービス用(四十名)

館内に、地域との交流が可能なスペースを検討中と聞いています。

二十五年年度「久宝寺小学校」放課後子ども教室「開講

(通称)「るんるん教室」

PTA・各部会の協力・支援で

子どもたちが楽しみにしている活動です！

参加する地域の方々の方々の主導で、それぞれ好きな種目に参加し交流することで、視野や知識も広がります。

地域コミュニティの中で子どもたちを育てていることを実感してもらおうと共に、子どもたちがリラックスする場でもあります。

六月十二日から二月十九日迄の水曜日に合計十四回開講 夏休み期間中は閉講

今年度の種目は、昔遊び、絵画、硬筆、クラフト、押し花、お作法、将棋・囲碁、読書です。

今年度は、お作法、昔遊び、クラフトが人気のようです。なお、今年度は手話とリズム体操は中止です。

今年度の参加申し込み人数は二百七十一名で、延べ五百九十名です。

一人三種目迄申し込みが可能です。

(総務部会)

八尾市主催

「市長と一緒に出張所・コミセンについて 考えよう」の案内

考えようの案内

日時 平成二十五年八月二十七日(火曜日) 午後七時三十分から九時迄

場所 久宝寺コミュニティセンターにて

主旨 八尾市では、地域のまちづくり活動(防犯・防災・子育て・高齢者支援など)を積極的に支援していただくため、出張所やコミュニティセンターを市民や地域の皆さんにどのように活用していただくべきか、市としてどのような業務(事業)を行っていくべきかなど、検討を行っています。

多くの市民の皆さんに活用してもらえらる地域の拠点施設ってどんな施設でしょうか？

市長が地域に伺って、地域の皆さんと意見交換を行いながら検討を進めていくとのことです。

参加者 どなたでも参加できます。(総務部会)

その他の地域の行事予定

寺内町「燈路まつり」九月八日(日曜日)

福祉委員会などから支援

「好きやねん久宝寺まつり」九月十五日(日曜日)

久宝寺小学校にて

「市民スポーツ祭」十月十三日(日曜日)

久宝寺中学校にて

女性会俳句

雨音に奪はれてゆく河鹿の瀬 山下美典先生

今年竹空突くごとし延びきりて 乾 芳子

梅雨空にスマイルタイム心晴れ 川東佐江子

蜘蛛の囲を払ふも日課朝の庭 川島貴世子

父の日や過ぎし日惚ぶ通天閣 佐々木 都

ほてい草淀める池を占めてをり 近松 籌子

六月の大地白樺列を成し 塚本みつ子

せせらぎの音の向ふに飛ぶ虫 友金 節子

ぼんやりと繭のごとくに梅雨の月 中村 芳子

苗先のわづかにゆらぐ植田かな 庖刀久美子

夏服のレース風抜け清清し 山田 啓子



幼児とのふれあい



障害者を囲むふれあいまつり

編集後記

「花みずき」に続き「かきつばた」を発行しました。発行が遅れた分、記事が多くなりました。多くの方々の協力に感謝いたします。読者の皆さんからのご感想を是非お願いします。

(機関紙編集委員会)